

府立中津支援学校 令和 8 年度「学校運営協議会」議事録（第 1 回）

日時	令和 8 年 7 月 10 日（金）10：00 ～ 12：00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	小山 智子	民生委員・児童委員	高河原 健	学校長
	岡 博文(代理)	大阪北ライオンズクラブ	入福濱 光	教頭
	川合 浩司	大和大学 教授	中村 隆子	事務長
	園田 葉子	DDD クラブ 代表	宇賀 功二	首席
	梅谷 通代	中津保育園 園長	野島 香織	小学部主事
			久保 太作	首席兼中学部主事
			中咲 英人	高等部主事
傍聴人	なし			
おもな テーマ	・ 令和 9 年度 教科書選定に向けて ・ 令和 8 年度 学校経営計画 ・ 授業見学 他			
協議内容の 概略	1 令和 9 年度使用教科書採択について 教頭より資料「令和 9 年度 使用教科用図書選定理由書」等について説明した。また、会場内に、今年度採択・使用している教科用図書の一部を見本として展示した。 2 令和 8 年度学校経営計画について 学校長より、本年度重点的に取り組む事項について説明があった。学校像として、「児童生徒一人ひとりのニーズを的確に把握し、小・中・高一貫した教育活動の中で基礎・基本を身に付けるとともに、自立と社会参加に向けて主体的に学ぶ人材の育成」を掲げていること、また、本年度が創立 40 周年の節目の年に当たることが報告された。 3 令和 8 年度 学校教育計画について 首席より、学校教育計画の概要について説明し、続いて、学部主事より、学校経営計画を踏まえた各学部の目標や重点的な取組みについて説明を行った。 4 授業見学 中学部、高等部、小学部の順に授業を見学した。その場で補足、学習の目的等の説明を行うことにより、児童生徒の活動の様子を通じて、授業の意図等が委員に伝わるようにした。 5 質疑応答 ・ 中津ブランドを作成し始めた経緯についてのご質問を受け、2 年前よりキャリア教育の一環として、ものづくりから販売まで、一連の流れを学ぶ取り組みを始め、今年度で 3 年目の取り組みであるとの説明があった。 その上で、中津ブランドについても今後継続的な活動として発展し、多くの人に親しまれる取組になってほしいとの期待が示された。 また、実際作成している革製品を見ていただいた。			

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・小学部・中学部・高等部の教育目標が「気づく」「伸ばす」「活かす」と系統的に設定されており、学校全体の方向性が分かりやすいとの意見があった。また、働き方改革と教職員のウェルビーイングを重点項目として位置付けたことについて高い評価があった。・運動会や学習発表会等の学校行事の位置付けについて質問がり、教職員の働き方改革や教育活動全体の見直しを進める中で、行事を隔年開催へ移行したことの説明があった。これに対し、運動会や学習発表会等の学校行事は児童生徒にとって大きな成長の機会であり、働き方改革との両立を図りながら今後も継続してほしいとの意見があった。・「中津ブランド」の活動を地域行事等で紹介することにより、地域住民との交流や理解の促進につながるのではないかと意見があった。また、地域住民と児童生徒が自然に交流できる機会づくりについて、今後も検討してほしいとの助言があった。・小学部から高等部までの教育目標の系統性について高く評価する意見をいただき、その上で小学部から高等部までどのように教育目標について協議されているか質問があり、学校からはシラバスの整備や授業公開週間、教員相互の授業参観等を通じて学習内容の系統性・連続性を大切にしているとの説明があった。 |
|--|---|